

前高オリジナル イノベーション人材の 100 段階評価について

県立前橋高校 探究部

本校での 3 年間における S S H 事業の各ルーブリック評価や外部検定の結果等を総合し、イノベーション人材に必要な資質・能力を 100 段階で評価します。

各資質・能力の評点の割り振りは、現段階では以下の通りになっています。

認知スキル (40)	行動スキル (36)		ベーススキル (24)			
関連 付ける力	実験力	質問力 ・観察力	グローバル 基礎力	論理的 表現力	自己調整 学習能力	批判的 思考力
40	18	18	6	6	6	6

個表には、評点ではなく S ~ D の段階別評価が書かれています。それは、それぞれの資質・能力の評点や 100 段階の総合評点を以下のように段階別に表したものです。

D	C	B	A	S
20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上

したがって、実験力の評点が「13」の場合、実験力の評点 18 のうちの約 72%になるので、「A」ということとなります。それぞれの資質・能力に対応した評価資料を評点に直す時の処理は、以下の通りです。

I. 認知スキル【40 点】

○関連付ける力【40 点】

- ・SS 科目での関連付ける力に係る活動を ICE ルーブリックを用いて評価し、I フェーズ 1 点、C フェーズ 2 点、E フェーズ 4 点と点数化して平均し、max で 5 点に調節する。(以下、「I」、「C」、「E」による点数化は同様)。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに必要な資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 10 点に調節する。
- ・課題研究での関連付ける力を 1・2 学年の課題研究ルーブリックの「check」の評価を点数化して平均し、max で 15 点に調節する。
- ・GPS-Academic テストの「創造的思考力」の選択式問題の評価をグレード別に点数化して平均し、max で 10 点に調節する。

II. 行動スキル【36 点】

○実験力【18 点】

- ・SS 科目での実験力に係る活動を ICE ルーブリックを用いて評価し、点数化して平均を max で 6 点に調節する。ただし、文系生徒は 2 年次以降、授業場面での実験力育成の機会が少ないため、max で 4 点に調節する。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに必要な資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 6 点に調節する。
- ・課題研究での実験力を課題研究ルーブリックの合算点から評価し、max で 6 点に調節する。ただし、文系生徒は 2 年次以降、授業場面での実験力育成の機会が少ないため、この項目は max で 8 点に調節する。

○質問力・観察力【18点】

- ・授業や各種講演会、大学・企業見学等での質問力・観察力に係る活動を ICE ルーブリックを用いて評価し、点数化して平均を max で 12 点に調節する。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに関する資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 6 点に調節する。

Ⅲ. ベーススキル【24点】

○グローバルなネットワークを構築する基礎力【6点】

- ・英語授業でのパフォーマンステストによる評価を点数化して平均を max で 3 点に調節する。
- ・GTEC 4 技能テストのスコアをグレード別に点数化して平均し、max で 3 点に調節する。

○論理的に表現する力【6点】

- ・課題研究の最終提出論文や英文の要旨の評価を点数化して平均し、max で 3 点に調節する。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに関する資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 3 点に調節する。

○自己調整学習者としての資質・能力【6点】

- ・自己調整学習能力評価尺度のアンケート結果の平均を max で 3 点に調節する。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに関する資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 3 点に調節する。

○批判的思考力【6点】

- ・SS 科目でのディベートなど批判的思考力を育成するための授業の活動を ICE ルーブリックを用いて評価し、点数化して max で 2 点に調節する。
- ・GPS-Academic テストの「批判的思考力」の選択式問題の評価をグレード別に点数化して平均し、max で 2 点に調節する。
- ・定期的に行う、ICE ルーブリック表を用いたイノベータに関する資質・能力の評価を点数化して平均し、max で 2 点に調節する。